磐城新聞

三十日夕刊

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料二行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

滿鐵通信

高萩好美

（第二信の一）

下關釜山連絡船は第一信の最後に一寸申上げて置いた慶福丸三千六百噸でありました。吾々の乘つた三等室は客室の中では最下部にあつて室の眞中に巾尺位の廊下樣の縱に通つた道があつて其兩側には疊を敷いた大きなホール式になつてゐる、周圍には所々約一間位の間を隔てゝ直徑一尺位の圓窓があるばかり其の窓から外を見るとシブキが飛んでくる。だから水平線より少し高い所にあることゝなる。之の丸窓は疊よりも五尺も高い所にあるのだから座敷は水平線と同じ位か又は其以下かも知れない。で窓を開けてをくことは勿論出來ない。コト〳〵といふエンヂンの音も近くに聞ねてくる恐らく隣室か床下でモーターが回轉してゐるのであらう。從つて窓內の暑さつたら實に話の外で丁度熔鑛爐の前にでもゐる程である。乘客は皆な顆を揃へて猿股一つか褌袢にた腰位で寢てゐる、男女の區別された場所ではあるが同じホールにゐるので一目瞭然である。着物などは着けてゐられない。其程三等室は暑いもあり凡ての點に於て不使である、こんな所に澤山の乘客が汗を流しながら半意識的にハンカチで汗を拭ひ扇子で扇ぎ懸苦そうに寢返りをしたりして寢てゐる僕も暑さに寢られず或限られた艙の方の甲板に出た。船は次第に陸を離れて行く陸の電燈の光は次第にかすかにうすらいてくる。スクリユーの爲めの白波は一線に長く船の後に續いてゐる甲板に立つてゐると寒い位である。其處のベンチに機械科のM君を見出した時は嬉しかつた、彼と鞍山まで同行くことが出來るからである。M君は大連の近沙河口工場へ實習生として行くのであつた。二三通の手紙を認た時は既に更けて一時を過ぎてゐた。夜明けに近くM君と枕を揃へて暫しまどろむと思ふ間もなく邊りの騷々しさに目を覺ますと船は今釜山阜頭に着かうとしてゐるのであつた。青々とした釜山の山々が朗の澄んだ空氣の中に呼吸してゐる様に晴れた姿を示してゐる。急ぎ荷物を纒めて棧橋より降りた。船中にも十人ばかりの白衣―輕るそうな見るからに凉しそうな彼等の常服を着けた朝鮮人が居たが阜頭にも點々と白く迎ひに來た者、往來する者通りに腰を下して異樣な顏付で吾々を見てゐる者、內地の官主が被る樣な黑の帽子を被り頤鬚を長く延ばして朝鮮獨特の長い煙管を持つてゐる者頭に大きな水瓶を頂せて歩く女、た尻の上へ無雜作に子供をたぶつてゐる女、これらは皆な珍しいことであつた。

急ぎ停車場の待合室へ入る。M君が急行券を買ひにいつた僕は待合室でM君と二人の荷物の番をしてゐた其時早稻田の制服を着てカンカン帽を被つた學生らしい一青年が僕の姿を見るとさも知つてゐる樣に僕の所へ寄つて來て

「僕はこの前の船で來たのですが、この驛でトランクを盜まれて（切符も金も入れてゐたので）京城へ行くことが出來ません。京城には僕の叔父がゐます其叔父にはまだ一度も逢つたことがないのですがそこへ尋ねて行くところなのです。若し貴方が京城へ行くならこの事を傳へて下さいませんか」といふのです。僕は朝鮮に渡る早々こんな人間にあつて懸いた暫し啞然たるを得なかつたのです。

「其は氣の毒な事ですね。警察へ届けましたか」

「届けるには届けたのですが一向知りません」

「僕は京城へ行くが京城へ行くが京城へは此汽車で行くと夜になります假りに僕が君の住所を聞ねて初めの所を尋ねることは容易なことではありませんよ。却つて僕が凝ぐられますよ。其よりもこゝから電話を掛けたらよいでせう、總督府に御勤めになつてゐらしやるなら直ぐ御知りになりませう。そして直接御話なさるが一番よい方法ですよ」

僕は不安ながらもこんな事を言つてやつた、其中にM君が急行券を買つて來たので之れ幸に車中の人となつた。彼はユスリであつたか或は本當に盜まれて困つて居たのか今だに疑問である。といふのは彼の言ふことには腑に落ちぬ點が多かつたからです。（續く）

文藝

人妻の心

てる子

鈴蘭よ
幸福が再び戻つて來る迷信の良い可愛い花よ
お前は造花なのに
お前は造花なのに
○月○日の夜にはキット香りを出して來るね
S樣に與へられてから後三年……
た前は忘れないでキット香りを出すのね
妾はお前が香りを出してくれる時
妾はS樣の御心を想ひ出し
悲しく……淋しくなつて來るよ
お前は如何等其の香りを出して
妾の罪を責めるけれども
妾はどうしてS樣に歸つて行かれやしない
鈴蘭よ
どうぞ　香りを出さないで下さいね
妾を責めないでくれ
妾は……二、三年過したら
キッと歸る契りで人妻になりしが
愛なき人の子まで生み
妾は一人の子の母なれば
なれど妾の眞心はS樣のものよ……永遠に
あゝ……た前は矢張り默目ね
妾を……罪を責めるのね
毎年の○月○日の夜にね

明日の吉凶

舊曆六月十四日　新曆七月三十一日

▲一白　利にあせれば甘き汁は却て人に吸はれ易き日▲二黑　一剋を通さんとすれば却て進路塞がるべし▲三碧　我より好意を以てせば人皆附隨し來るべし▲四綠　謙讓の德顯れて引立に逢ひて立身すべし▲五黃　昂奮すればするほど不利に陷り易き注意日▲六白　慈善は人の爲ならず自ら後日にむくいらるべし▲七赤　盛運の日なれども病には弱し飲食物に注意▲八白　多事多用の日他人の事は成べく避くべし▲九紫　和順を基とし燥急ならざるが無事企業は凶

講談

幕末秘帖　狂怒乱心　(3)

渡邊默禪作　宮野歌春畫

柄に手を懸けるを合圖に一人はぐつと老僕の後衿を掴んで前へ押出すやうにする。

雪江も老僕もはつと顏の色を變へた。何時の間にか前後に入の黑山、參詣の往復がぴたりと足を停めて遠くから眺めてゐる。

「あ、モシ、た待ちくださいッ！」

雪江は慌てゝ馳寄つたのアワヤ刀を拔かうとする漢子の袖に取縋つて

「貴君、情願御勘辨くださいまし、主人の私から折入つてた願ひいたします、全く此方の無調法から出ましたことで何とも申譯がございません、失禮は幾重にもお詫をいたしまする、た慈悲にた見逃しを……モシ、貴君お情でございます」

ふるひ聲の涙を帶びた語調

その顏を瞰下して彼はにやくと笑つたが、待つてゐたと言はぬばかりの色が眼の邊に微見ねに

「何見逃して呉れいと申すのか」

「ハイ、どうぞ」

雪江は片手で拜む

「そりや、釋して呉れといふなら釋さんものではないが、只は釋さんぞ」

「どのやうに致しましたならた聞屆けくださいます」

「さ、箇樣にいたせ、我々は是より鬼子母神手前の茶屋に參つて一獻飯直す所存ちやに依つてお手前も同道の上に酒の相手をせい」

「まあ」

雪江は眼をみはつた

「可厭か、可厭なら此奴を手討にいたす分の事ちや」

「ハイ、宜しうございます、それしきの事で人一箇の命を助かることなら何の厭ひがございませう、悦んでた伴いたしませう」

「うい奴、然らば直と參れッ」

主從はホッと息を吐いた見物は何の事だと呆れてゐる。

鬼子母神の社から五六丁手前舊大久保彥左衞門抱屋敷に接して、初音といふ小料理屋がある。

其家へ這入つて來たのが例の浪士二人と雪江主從であつた。ひよろつく千鳥足の大小を丟多つかせて、左右から雪江の眞白なカイナを掴み、幾んど曳摺るやうにして花暖簾を潜つた

「入らつしやい、お上んなさい」

茶籠の前から馳出した婢が頓狂な聲を揚げる。途端に店頭に寢轉んで居た尨犬が浪士の足駄に蹴られてキャンと叫びながら床几の下に逃込んで悔しさうにほゑ立てた。

「こら、こら、女、何處ぞ座敷が有るか」

低い方が叱るやうな尖い聲を放つた。

「はい、裏の離が空いてゐるだがね」

「ハッハッハ、此女山出しと相見える、個樣な貧乏茶屋にも離なぞあるのか、それは一段ちや早う案內せい」

「貧乏にかけたらた前さまの方が上手だんべね」

「何ちやと」

「えい、上手の座敷へ案內するだよ、ぢア御座らッせえ」婢は先に立つた

主人が迷惑するのを見て老僕は氣が氣でなさそうに其の跡から跟いて行かうと爲るのを

「こらッ！汝に用はない、其處に控へてをれッ」

と一喝されて

「はい〳〵、畏まりましてございまする」

老僕は窮み返るやうに床几へ腰を懸けた

百日紅や山椿、躑躅などの不規則に栽ゑられてある庭を通つて竹籔を後ろに負つた茅葺の離れへ通ると、松の床柱に粘土の荒塗未だ乾き切らぬ生壁に誰の惡戯か無慘な手影が印いて懸けた畵幅が須彌山の圖、六帖の疊は青いが、所々に酒を溢した汚點や飛火の燒痕什麼しても田舍茶屋の悲しさであゝ、けれども半窓の外には散りかけた野梅の枝が横たはつてそこども分かぬ鶯の聲が流れる。

廣告

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

平町田町
赤心堂病院
電話四七五番

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

平町田町
高久病院
電話五一三番

スター好
中形
粹な手中
着尺モスリン
本場カャ
平
龜田屋
電五七

開店御披露

氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々是非一度御來店の上御批評を
經營は大塚肉店故原料豊富、是非一度御試食の程を

女給數名入用

カフエー幸樂
平町六丁目電五（三九番）

登録商標
醸造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部一〇番　醸造工場二七番）
振替東京一九七五五番

東京支店
上野車坂町四三
電話下谷五七三二番
振替東京六八三二番

國産品普及宣傳
抽籤附大特賣
精工舍製腕時計セイコー

大懸賞額

賞品		
一等	金壹百圓	（復興債券）五十本
二等	金五十圓	（同）百本
三等	金拾圓	（同）二百本
四等	金五圓	（同）五百本
五等	精工舍製ニッケル丸形机上時計	（市價一圓八十錢）四萬九千百五十個

賞金總額金拾萬貳千九百七拾圓也（一本も空籤なし）

特約店
會田時計店
平町四丁目（電話三六三番）

日東のラジオ
最新高級のラジオ製造販賣
並に部分品提供
當分の間奉仕的破格値段
三球セット取付共
A　百貳拾五圓
B　百圓
C　七拾圓
御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。
平町白銀町
日東商會
電話四二八番

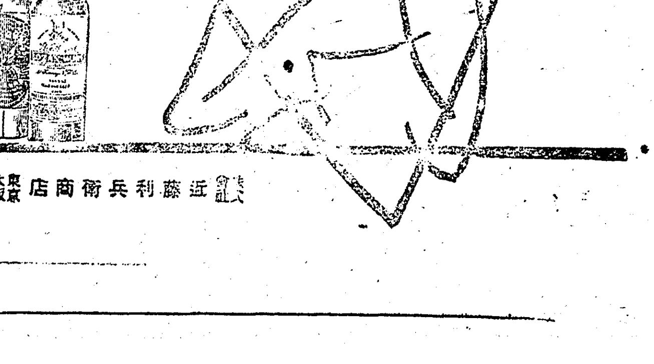
內科
小兒科
皮膚科
花柳科
平町舊城跡（城山）
青沼醫院
醫學士　青沼淡夫
電話四〇三番

食用鳩（カルノー　ホワイトキング　シルバーキング）
プリユウセキセイ　オカメインコ
アカボタンインコ　カルカヤインコ
ダルマインコ　小紋鳥
一紅鳥　錦花鳥
白文鳥　白十姉妹
脊ノコリ　小斑
平町田町本通り
ベニヤ小鳥店

健康禮讚
蜂ブドー酒

人生の最大な歡喜は一家揃つて健康なることであります　美はしき皮膚の精彩と魅力ある健康と美とを創造する蜂ブドー酒の食前常用は人間生活をヨリ光明へ　ヨリ幸福へと導く唯一の捷徑であります……

「蜂印香竄葡萄酒」といふ名稱を皆樣のお奬めにより且つは時勢の推移に鑑み今後「蜂ブドー酒」と改めます　どうぞ引續き御愛飲を願ひます



合資會社　近藤利兵衞商店　東京　大阪

有力銀行を迎えて 將來の安全策
常磐炭礦の聯合協議會に 高唱された支店設置の要

常磐地方三井、大倉、磐城、古河、入山、大日本、山下各炭礦聯合協議會は礦長會議を兼ね去る二十七日湯本町松柏館に於て開會されたが、時たま／＼差し當り問題として各炭礦當事者が共に考慮を拂ひつゝある

取引銀行の撰擇に就き某勞働團體は磐城銀行の回、休業に就ては幸ひ事なきを得たけれども今後若し此種の理由により資金の澁滯から勞働賃金不拂ひ等の事なからしむる樣切望したる向きもあり、のみならず斯かる不測の災を見る如きことあつては社業の運に上に由々敷問題なりとし彼の磐城銀行營業休止以來、各炭礦でいはゆる所謂石橋を叩いで渡れ主義の大事をとり古河、大倉、入山各會社は水戸市川崎第百銀行支店と取引きを開始し三井は本社より現金托送をすると云ふ現狀にありて

此の不便は何れも到底長く耐ね得るものに非らざれば此際絶對的信用出來る東京某有力銀行をして常磐に一個所支店を設置せしめ相互利益と安全策を恒久に確立すべきであるとの意見が高唱され

大多數は之れが實現の爲め積極的運動に移ることゝなつたが此の種の意見は最近可成り有力な輿論となつて現はれたから何れ早晩に實現さるゝものゝ樣に觀測されてゐる

玉川磐崎の水田に 突如メイ虫發生
鈴木技手被害狀況調査 收獲は半減か

折柄天候不良の爲め稻の發育不良に陷つてゐる本郡地方稻作に就いては郡農會神谷農場等が善後對策に努めてゐるが突如玉川村大字島、住吉の水田約五十町歩螟蟲發生殆んど全滅に瀕し更らに磐崎村の水田約二十町歩にも同樣螟蟲發生した此の螟蟲發生の急報に依つて郡農會から鈴木技手急遽出張被害狀況其の他精細な調査を爲したが同技手は

「玉川村の水田約五十町歩磐崎村の約二十町歩に發生した螟蟲は水稻被害中最も恐れられてゐる害蟲で今日の處では驅除の方法が研究されてゐないので螟蟲の蔓延にまかせてたく外はありません、此の害蟲發生の原因は天候不良の爲めである學勿論濕氣が多く氣溫低い結果發生したものであるが現在の處では此の二ケ村のみであるから被害程度も收穫半減位いで全滅と言ふ樣な事もないでせう」云々と語つてゐた

雨中を突いて 鈴木選手の平入り
本社其の他の歡迎自動車 四倉まで出迎え

既報元磐中選手現日本齒科醫專學生鈴木喜政君の青森東京間五百五十マイル長途マラソンは降雨の爲めコンデーション頗る悪しく昨夜は富岡町に一泊し豫定より一日遅れていよ／＼今卅日午後五時平着多數スポーツマンの歡迎を受け平に一泊明日豫定のコースを辿り茨城縣に向けて出發する筈であるが同君からの通信によると途中降雨のため道路その他コンデッションの關係で少々タイムには差異を生じた樣であるが第一回の試練として各方面應援少からず大体所期の經過を辿つたもの〻如く中着の本日は午後五時磐城銀行前に到着磐中選手その他多數の出迎へを受け元商業學校に入り町民有志多數の慰勞茶話會に臨み一夜の休養に入る豫定であるがこれより先平青年團では團旗を先頭に本社並にいはらき新聞其の他歡迎自動車が四倉まで出迎へ共に平町に入る筈で出生地なるだけ全町擧げて歡迎の意氣盛んに此の壯擧を迎ふべく準備中である

青年訓練に就て（一）
磐中出身某將校談

青年訓練所勅令發布二週年記念日を迎ふるに方り聊か所信を開陳して郷土諸賢の御叱正を乞はんとするものである。

過般來平町五丁目佐々木氏等の御努力に依り平町青年訓練所も益々盛運に向ひつゝあることを貴紙に依り承知致し誠に御同慶に堪へぬ次第であると共に同氏等の御骨折に對し敬意を表し上ぐる次第である。

青年訓練所 開設の由來

我國に於て國民に教練を實施することになつたのは明治十九年時の文部大臣森有禮氏の時である、當は時國民の一部たる學生に教練を實施し是が兵式体操と稱したのであるが其當時歐米諸國では未學校教育に此種施設を行つた所はなかつたであるが我兵式体操は其後幾多の改變を見たけれども學生生徒の体力を增進し精神氣力を養成するに貢献せる所誠に偉大であつた事は何人も否定し得ぬ所であつた然るに漸次社會民心緊張を欠くに及んで學校に於ける教練も次第に其弊を受け往々形式に流れ其眞髓を失はんとするに至り未だ國民全般に之を及ぼすの氣運に至らなかつたのである。

然るに一方歐米諸國に於ては世界大戰の經驗に鑑み所謂軍隊豫備教育なるもの熾に興り國民精神の作興と國家總動員の準備に絶大の努力を拂ふに至つたのである、列國に先んじ兵式体操に採用したる我國に於ては逸近漸く其不振の狀を見るに至れる反面に於て歐米諸國は以上の如き狀況にあつたのである是に於て我國識者間に於ても青少年を訓練し國民の資質を向上し國力の增進を圖らねばならぬ帝國の實狀は歐米諸國に比し其切要の度の更に大なるものがある、今にして之が實施に努めざれば遂に百年の悔を貽すに至るであろうとの議が起り差當り陸軍、海軍、文部内務農商務（當時の）の五省で協同して研究を進めることゝなり數次の協議會を開き漸次具体化せんとしつゝあつた折柄大正十二年九月關東地方大震災に遇ひ一時中絶の姿となつて居たのが大正十三年時の文部大臣岡田良平氏と陸軍大臣宇垣一成氏との間に相談が纏まり遂に大正十四年二月本件に關する兩者の協定が成立し茲に先つ其第一歩として中等學校以上の諸學校に現役の將校派遣して教練を實施することになり稍いて翌十五年春に至り勅令第七十號を以て青年訓練所令が發布せられ全國統一的に之が訓練を見るに至つたのである。

因に此種青少年の訓練に教練採用せられた理由は諸設備等に費用の少きこと、習得容易にして効果の大なること。及び國民性に合つて居ること等が主なるものであつたのである尤も他に良法があれば其が最もよいので必しも教練でなければならぬと謂ふのではない然し當時の研究としては教練を以て最とせられたのである。

我國青少年の訓練に就て述ぶる前に先つ歐米諸國の訓練狀況に於て概說することにする

農事傳習
神谷分場で 來る卅一日

縣立農事試驗場石城分場主催の農事傳習會は來る卅一日同場に開催と決定科目は蔬菜園藝に關して講師は稻田分場長である

貸金を催促し 叩かれた男
裡面に何かの カラクリか

平町紺屋町果物商平澤延太郎（三三）は好間村上好間飲食店鳥羽よしゑ（三三）外一名を相手取り二十八日平署へ毆打傷害および竊盜の告訴を提起したその理由は去る二十日午後十一時ごろ平澤は被告鳥羽方に古い貸金があるので催促に行つたところよしのは隣家の某を連れ來つて矢庭に平澤を引摺り出し毆打傷害を負はせた上現金二十餘圓を竊盜されたといふのであるが取調べの結果は事實と相違の點があり引つゞき鈴木司法主任係となり嚴重取調中

茶椀に毒を塗つて 實母を毒殺せんとす
叱責された口惜まぎれに 拾九才の田舍娘

二十七 石城郡山田村農丑太郎妻ウメ（四〇）は娘みの（二九假名）共に

野良稼ぎに赴き仕事のことでみつはいたく母親に叱責され歸宅したが午後七時頃口惜しさの餘りみつは母親の飯茶椀に毒藥を塗り夕食の際毒殺しやうと企てたが母親は茶椀を持つた處異樣な臭氣に不審を抱き娘に聞きただした處前記の始末と判明大騷ぎとなつたが風評により所轄植田署では取敢ず娘を引致殺人未遂として目下取調中であるが

茶椀に糊塗した毒藥は縣衞生課では果して毒藥なるや否や分析中であ

愈々悪るい 郡下水稻の發育
今後の天候如何が問題 前四ケ年の發育比較

農事試驗場石城分場に於て本年水稻夏作々況について調査中であつたが去る二十三日終了した、その概況は四月二十五日播種以後苗期

適當の雨量と溫度とを保ち氣候順調に經過せし爲め發育良好であつたが、本田移植六月十八日以後七月に至り氣溫高かりしも曇天多く日照時間少きを以て前年に比し草丈は增せしも蘖少く石城郡下一般に略同樣の發育を見て居る、然し前四ケ年間平均に比較すれば發育不良である、從つて

今後の天候如何が最も重要であるなほ前四箇年間の平均の比較は

△早生三種平均
草丈二尺七分莖數十二本二で莖數二本の減

△中生三種平均
草丈一尺八分莖數十三本三で草丈一寸七分增莖數一本四の減

△晩生三種平均
草丈一尺八寸二分莖數十五本九で草丈一寸五分減

△總平均
草丈一尺八寸九分莖數十三本八草丈に於て一寸一分ノ減莖數一本一本減少

總括的に見て前四ケ年の平均より不良とある

植田町の昨今
貸家拂底を示す

石城郡植田町地方は小名濱商港の實現說や附近炭礦の打續く不振に平町を中心として小名濱地方へ轉住するものが激增するの傾向を見せるに至つたので今春に入り殊の外閑散なる狀態を示して來たが昨今では郡中央の經濟界が餘り思はしからぬ形勢を見せるに至つたので一時他地方への轉任者多きため非常に多數にのぼつた貸家も最近同町へ轉住して來るものがふえて來たので最近では貸家拂底の形ちを示し却て住宅難をかこつ程である

平町吏員の 事務協議
伏見町長の 講演もあり

平町役場では本日正午から役場會議室内に於いて吏員協議會を開き各種事務の協議を爲したが終つて伏見町長が過般出席したる函館市に於いて擧行の全國上水道會議の會議内容に就いて講演する處あつた

情夫を相手に 慰藉料請求訴訟
許婚の男を棄て今度は 情夫に棄てられて

湯本町村上アサノ（二三）は實家に同居してゐる水戸市生れ皆川安一と許婚の中でありながら安一を嫌つて數年前から同町入山炭礦坑夫寺尾喜一（三六）と情を通じてゐたが遂に喜一の胤を宿して姙娠したので昨年九月喜一の許に嫁いだが同年十月男子を分娩してから喜一の愛は段々薄らいで果てはアサノを虐待し始めたがアサノは許婚の男安一を棄てた罪と諦めてゐると觀念してゐたが今年に入つてから喜一の虐待は愈々激しくなり遂には去る十九日夜の如き戸內を締切つた上喜一の實父と共に喜一はアサノを縛り付けて見るに堪へない暴行をなしたので近所の者が驅付けた入山警務所から係員を迎ねて喜一親子の亂暴を取り鎭めたが流石のアサノも今更男の無情を怨んで見ても追付かず實家に歸宅喜一は最初からアサノと結婚の意志がなくアサノを弄んでゐたものであると言ふので平町山野邊辯護士を代理とし貞操蹂躙並に七百三十圓の慰籍料請求訴訟を平區裁判所へ提起した

衛生組合を設けて 産馬改良に努む
石城郡主要町村に…… 第二回衛生檢查は九月執行

石城郡内産馬衛生第一回檢査は過般終了した、その結果一般的にみて概して良好であつた、然し同地方は多く

山野に放馬しておく關係上一度傳染病等の發生を見れば急速に蔓延する恐れあるので石城郡産馬畜産組合ではこれが防止をなし一方に於て産馬改良に關し考究を進め過般産馬衛生組合を設置せんと種々打合せを行つた結果いよ／＼具体化し郡内主要町村に衛生組合を設置することになつた

第二回産馬衛生檢查は來る九月上旬頃に行ふ豫定である

新舞子で 慰安會
織田主催の

平町南町織田自轉車店主催の購買者並に家族の慰安會は既報の如く昨廿九日仁井田浦新舞子に於いて盛大に擧行されたが當日餘興の福引抽籤の結果幸運者は次の如くである

△一等スバルタ號自轉車 高久村鈴木兵十郎△二等同喜多方松崎政吉△三等ペリー號自轉車平町馬目啓太郎△四等五十圓商品券若松市滿田善內△五等名入金側懐中時計六浦鯨岡義江△六等スバルタタイヤ中付高久本間左源治△七等同富岡二本栟平商店△八等拾五圓商品券平渡邊喜十 △十圓商品券平北海屋商店△十等記念品殘全部

自轉車の正面衝突 一人は瀕死の重傷
自轉車を棄て、相手の男逃走

石城郡草野村字泉崎大場忠治（三〇）は去る二十八日午後四時半ごろ自轉車にて同村卜神谷六十枚縣道地内を疾走中平町方面より同じく疾走して來た自轉車と衝突はね飛され胸部をしたゝか打ち人事不省に陷つた騷ぎに附近の者がかけつけ忠治に手當を施したがなか／＼の重傷であるなほ相手方は自轉車をその場に棄て何れにか姿をくらましたのでいづれのものとも判明せず目下嚴探搜查中であ

美術と技藝展

小名濱町盡稚會主催に係る美術技藝展覽會は八月三日より三日間同町公會堂に於て開催する擧となつたが出品二百餘點に達する筈で盛會を豫想されてゐる

珍談 勳八等の 日露勇士
平署で大暴れ 寺社巡禮の途次 泥醉の果て

昨廿九日午後九時頃平署の玄關口に飛込んで來た身の丈六尺豊の一見勞働者風の男が「泊る處がないから留置場に泊らせて呉れろ」と吐鳴り込んで來たので當直の齋藤部長が「オトナシク歸れ」と言つたので其れが悪るいと暴れだし果ては暴行も仕兼ねまじき樣子に係官も流石に呆れ返つたひどく泥醉してゐるので保護の爲め檢束本もの〻留置場の中に放り込んだが此奴は當時住所不定和歌山縣生れ勳八等の日露の勇士片山初之丞（四九）と稱し全國の社寺を巡禮中同日平町に着したが酒好きの爲め町內各所を吞み廻つた結果泥醉したものである事判明片寄警部補に油をシボラレスッカリ恐縮して引上つた

實は胡鼠泥
前科四犯の 男めかけ 男平署に捕はる

山形縣東置賜郡金山村生れ當時住所不定無職前科四犯熊澤金三郎（四三）は去る大正十五年二月中水戸刑務所を出獄後當地方に流れ込み內鄕村大字御厩鈴木八重（四〇）が小金を留込んでゐる事を知つて巧みに八重を丸め遂にはズル／＼ベツタリ同家に入り込み亭主氣取でゐたが昨廿九日同村大字御臺境菅原定隆方から價格七十圓餘の大工道具を竊取したの平署に探知されて逮捕嚴重な取調を受けた結果前後十數回同村を中心として胡鼠泥を働らいてゐた事を自白したが餘罪ある見込で引續き嚴重な取調を受けてゐる

前科七犯の 老怪盜
昨夜內鄕で 逮捕さる

自稱安積郡多田野村生れ當時住所不定無職前科七犯石川音藤（五二）は去る大正十五年十一月中平刑務所を出獄後、福島、郡山、若松、安達、信夫、伊達其の他全縣下を股にかけて竊盜を働らき荒し廻り更らに當地方で一稼ぎせんとして平町に入込んだのを平署に探知されたが音藏は巧みに平署の眼をあざむいて平町六丁目木賃宿四面宿方に投宿する如く裝ひ昨廿九日內鄕村大字宮字竹之內木賃宿加納屋方に投宿したのを平署猪狩、森其の他の刑事に突止められ逮捕されたが出獄後前後數十回の竊盜を働らいてゐた事を自白した被害高數千圓に達する見込であると

消防組に寄附
大谷久藏氏

平町三丁目大成火災海上保險株式會社代理店大谷久藏氏は保險契約をしてある平町紺屋町森川泰一郎氏方に保險金一部を支拂つた上、大事に至らなかつたのは平消防組の奮闘によるものであるとし金二十五圓を平消防組に寄附した

マルトの 撞球大會
カツプは 鈴木（武）君

平町田町マルト撞球場主催のカツプ爭奪月次十勝會は既報の如く昨廿九日午後一時から擧行したが本賞入賞者は次の如くである

△一等鈴木繁（五〇）二等鬼澤（七〇）三等本田（三〇）四等石井（二五）五等花澤（二五）六等柏木（三〇）七等高木（七〇）八等加藤（三〇）九等鈴木重（二五）十等鈴木彌（二〇）

次いでカツプ戰に移り第三回カツプは鈴木武雄君（四〇）が獲得した猛者戰は一等山崎（六〇）二等市毛（七〇）三等小島（五〇）

以上

明日の天候 今日の溫度と
（小名濱測候所發表）

本日正午の溫度は七十六度一分

明日の天氣豫報 北東の風曇り小雨の見込み

改名廣告

坂本浩（ヒロシ）

舊名 茂長